

ASEAN-Japan Chemical Safety Database(AJCSD)情報

AJCSDに関する国際会議が開催されました。

平成30年7月9-11日に開催されたAMEICC WG-CIにおけるAJCSDに関する議論の概要を紹介します。

NITEは、日本とASEAN各国の法規制情報等を収載したデータベースAJCSDを運用しており、運用機関として出席しています。

* AJCSDとは？

日ASEAN経済産業協力委員会 (AMEICC) 化学ワーキンググループ (WG-CI) の合意に基づき、日本とASEAN各国が共同で構築したデータベースです。ASEAN各国の政府から直接提供された化学物質の規制情報や有害性情報、GHS分類結果、サンプルSDS等を収載しています。

NITEが運用機関となって、2016年より運用しています。 <http://www.ajcsd.org/>



* 第4回AJCSDテクニカルワーキンググループ

AMEICC WG-CIの下で、AJCSDにデータを収載しているASEAN各国の政府機関、産業界が集まり、技術的な観点よりAJCSDについて議論しています。

日時：2018年7月9日 場所：ラオスルアンパバーン

出席国：カンボジア、日本、ラオス、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム（インドネシア、ミャンマーは欠席）

議論の概要：

- * NITEより、前回ワーキンググループの結果を踏まえたAJCSDの改良点と今年度予定している更なる改良について報告しました。
- * 日本より、AJCSDに収載された各国の規制制度の対象化学物質について簡易分析結果を紹介しました。その結果、AJCSDは検索ツールのみならず、各国が自国の規制を評価するツールとしても活用できることが確認されました。
- * 日本の有害性情報（化審法における有害性クラス等）を収載することで、日ASEANとして有害性情報の共有化を検討していくこととなりました。